

がん化学療法指示書

登録番号 369

作成日 2023.2.8

レジメン名	FL+Bmab療法
診療科・対象疾患	外)進行・再発大腸癌
投与間隔	2週間
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
ペバシズマブBS	ペバシズマブ	5mg/kg	day1
レボホリナート	レボホリナート	200mg/m ²	day1
フルオロウラシル(急速静注)	フルオロウラシル	400mg/m ²	day1
フルオロウラシル(持続点滴)	フルオロウラシル	2400mg/m ²	day1~3

	順下 剤 抗 癌	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
						day1	day2	day3	day14		
治療内容	注射	Rp.1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●							
		Rp.2	生理食塩液 デキサート(6.6mg)	100mL 1管	15分	点滴静注メイン	●							
		Rp.3	癌 ペバシズマブBS 生理食塩液 総量100mLにする	5mg/kg 100mL	※1 90分	点滴静注メイン	●							
		Rp.4	生理食塩液 ペバシズマブと同じ速度で投与	50mL	任意	点滴静注メイン	●							
		Rp.5	レボホリナート 5%ブドウ糖液 スパイク使用する	200mg/m ² 250mL	2時間	点滴静注メイン	●							
		Rp.6	癌 フルオロウラシル 生理食塩液 ※2(投与の注意事項参照)	400mg/m ² 100mL	10分	点滴静注メイン	●							
		Rp.7	癌 フルオロウラシル 生理食塩液 ヘパリンNa 総量を140mLにする	2400mg/m ² 200mL 1mL	46時間	持続点滴	●	●	●					
		Rp.8	ヘパリンロックNaロック用100単位/mL シリンジ 抜針用	1筒		ワンショット			●					
	内服													
その他 必要薬剤														
総投与時間	1回目 day1:4時間50分(フルオロウラシルの持続点滴を除く) day1~3:46時間(フルオロウラシルの持続点滴のみ) 2回目 day1:4時間20分 3回目以降 day1:3時間50分													
血管外漏出 リスク	ペバシズマブ:非炎症性抗がん剤 5-FU:炎症性抗がん剤													
投与時の 注意事項	※1 初回投与時は90分かけて点滴静注する。忍容性が良好であれば2回目60分、3回目以降30分で投与する。 ※2 Rp.6終了後、ルート確保用の生理食塩液を5分間流す													
備考欄														